

おおぎみ

# 大宜味

「健康長寿の  
いきいき輝く  
文化の村」



広報 No.202

KOHO OGIMI 2012年 1月号



今年生まれの  
村内小学生

# 謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎えるにあたり、村民の皆様にとって健康で明るく希望に満ちた年でありますようお祈り申し上げますとともに、日頃から村政全般に対する温かいご理解とご支援に対し心から感謝申し上げます。

昨年は結の浜におきまして、2月の「結の浜団地」の入居開始を皮切りに、3月の「大宜味浄化センター」の供用開始並びに「村道結の浜線」の開通、5月には「宅地分譲」の開始、10月には「村立診療所」の診療開始と、将来の村の中核地区を担い新たな村の観光・福祉・産業振興また定住化に資する事業が動きだしました。併せまして5月には「広げよう緑の自然とぶながやの心」を大会テーマに第62回沖繩県植樹祭が結の浜で開催され、多くの村民の手で植樹された椿やハイビスカスは、将来本村を訪れる方々に潤いと安らぎを与えてくれることでしょう。

4月には県民の水瓶となる大保ダムの供用が開始されました。10月には全国14団体が一同に集い「第20回全国重要無形文化財保持団体協議会大宜味大会」が開催されました。本村からも芭蕉布保存会の力作が展示され、高度な技の世界を多くの観客に堪能して頂きました。同月には「第5回世界のウチナンチュ大会村出身者歓迎交流会」も開催され、世界5カ国から25名の村

出身者が集い、5年ぶりの親戚、友人、知人との再会に、会場は歓迎の熱気に溢れ、次大会での再会を誓い合いました。

文化・スポーツ面におきましては、全国レベルでの優勝や表彰等、村民の皆様のご活躍とご尽力で、村に活気を与えてくれました。

迎えた年は、引き続き結の浜での企業立地・産業誘致を積極的に遂行するとともに、特産品のシークワーサーも、これまで同様に県内外で「大宜味ブランド」のPR活動を展開して参ります。本年も「健康長寿のいきいき輝く文化の村」を基本構想に、豊かで住みよい村づくり・健康ユイマールの村づくり・心豊かな文化の薫り高い村づくり・安心・安全な村づくりの4本の柱の実現に向けて、村民の期待と声に充分に応え、諸施策を展開していく決意であります。

厳しい財政事情の中、職員一同、心を一つにして本村の発展と村民の皆様のため最大限の努力をしていく所存でございます。本年も、どうぞよろしくお願い致します。

結びに、村民の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。共に歩もう2012年！

平成二十四年一月一日

大宜味村長 島袋義久

# 年頭のあいさつ



大宜味村副村長  
山城清臣

明けましておめでとうござ  
います。

昨年12月26日に副村長に就任  
しました山城清臣です。就任に  
あたりご挨拶を申し上げます。  
始めに自己紹介をさせていただきます。  
昭と20年1月生まれで  
今年67歳になります。出身地は  
田港で高校まで生活しておりま  
した。大学入学と同時に那覇に  
転居し、以後、那覇市や浦添市  
での生活となりました。昭和45  
年に琉球政府建設局に採用され、  
昭和47年の復帰に伴い沖縄総合  
事務局に身分が引き継がれ、平  
成12年に勲奨退職するまでの30  
年間国家公務員として在籍して  
きました。この間道路やダム建  
設等、社会資本整備の事業担当  
部局勤務で用地補償業務を担当  
してきました。大宜味村との業  
務的関わりは、北部ダム事務所  
の副所長であった時期、大保ダ  
ム建設に伴う損失補償基準の作  
成や用地買収及び村当局や各字  
からの要望事項の取りまとめで  
あったと記憶しております。

り組んでいきます。

## ① 行政内部の活性化と行政懇談会の充実

行政において重要なことは  
情報の公開と知らしめる努力  
であり、住民の声を広く収集し、  
スピード間をもった対応であ  
る。そのために行政懇談会を  
積極的に開催する必要がある。  
又、役場職員の問題意識の共有  
化と連携、研修や研鑽による技  
術力の向上を図ることである。

## ② 中南部及び県外からの観光客の誘致のための事業化

自然豊かな緑、水をテーマに  
した事業化。長寿をテーマにし  
たイベント。ぶながやの里の夢  
有形、無形の文化財等、本村は  
観光客を誘致するテーマに事欠  
かない材料が存するのである。  
事業計画の策定には、行政内部  
の議論はもとより、村外で活躍  
している郷友の諸先輩の智恵を  
お借りすることも大事である。  
とにかく行政内部が熱くなるこ  
とが第一歩である。

## ③ 産品の特産化の取り組み

大宜味村の産品(例えば、海  
産、山菜、あるいは、海神祭の  
神酒等)の特産品化を目指した  
取り組みも大事である。  
私の役割は、大宜味村の魅力  
(自然的、人工的)を村内外に  
発信し、集客による活性化を目  
指す事と理解しています。こ  
れまでの行政経験を生かし微  
力ながら頑張る所存ですので、  
よろしくお願いします。

# 年頭のあいさつ



大宜味村議会議長  
金城勇

新年あけまして  
おめでとうございませう。

村民の皆様には平成24年の  
輝かしい新春をお迎えのこと  
と、心からお慶び申し上げます。  
昨年は、日本中を震撼させた  
大地震、大津波、それに加えて  
原発事故と自然災害の猛威にさ  
らされました。特に東日本にお  
いては最大の被害、それと原発  
事故の福島県においての問題は  
深刻です。改めて亡くなられた  
方々のご冥福をお祈り申し上げ  
ますとともに、被災されて困難  
な生活をされておられる方々に  
は、一日もはやい復興を願いま  
す。世界各国や日本中からの支  
援を必要としますし政治的判断  
も急務だと思えます。

し関係者も大喜びでした。

また沖縄県においては、5年  
に一度開催されます「世界のウ  
チナーンチュ大会が催され大  
宜味村大会においても盛大に  
行われました。親戚や友人ら  
と語り合う笑顔・抱擁する姿が  
あり大会後も「大宜味音頭」を  
何度も何度も踊りつづける  
方々の姿も印象的でした。

国においてはT P P交渉の  
参加に向けて一歩踏み入れま  
した。T P P交渉の事前協議  
にあたっては、万全な情報開示  
と国民的議論を尽くすべきで  
はないでしょうか。

基地問題においては、県民が  
望む方へは進展せず、前沖縄防  
衛局長の発言は県民を侮辱し  
愚弄するもので、激しい怒りを  
込めて抗議し本村議会でも意  
見書を提出しました。

議会の役割は予算案などの議  
決のみではなく、国や県の動向  
にも目を向けながら、村民の声  
を行政に反映させなければなり  
ません。執行機関と互いに切磋  
琢磨しながら、複雑多様化する  
社会に対応し、村民の皆様の負  
託に応え大宜味村の抱える諸問  
題を解決するために、議会とし  
ても全力を尽くしてまいります。

村民の皆様のご支援ご協力を賜  
りますようお願い申し上げます。  
終わりに、この一年が皆様に  
とって実りの多い年でありま  
すよう、祈念いたしました新年  
のご挨拶と致します。

## 宮城重徳副村長

### 2期8年の任期を終え退任

平成15年に副村長に就任し、2期8年  
にわたって島袋義久村長とともに村行政  
を牽引してきた宮城重徳副村長が2日、  
任期満了を迎え村役場での最後の職務を  
終えました。

同日、役場第一会議室で行われた離任  
式で宮城副村長は職員を前に、2期8年  
の村政を振り返りながら、今後に向けて  
「観光や産業を相乗的に組み合わせ過疎  
対策に向けて取り組んで欲しい。そして、  
第4次総合計画の後期基本計画やその先  
にある第5次総合基本計画では、各セク  
ションの計画を集合して財政シミュレ  
ーションを描き、数値目標を掲げて自主財  
源の拡大に向けて頑張ってください」と職  
員を激励しました。

8年間、ともに村政を支えてきた島袋  
村長は「条例等の制定や、地域の活性化を  
図る施策を各担当課に指導し、そして調  
整を図りながら一緒に作ってきた」と  
大宜味村に大きな力を与えてくれた」と  
8年間の功績に感謝しました。

### 式後、宮

城副村長は  
庁舎外に集  
まった職員  
の花道を通  
りながら、  
8年間の大  
宜味村政に  
笑顔で終止  
符を打ちま  
した。



職員から感謝の花束を受けとり村役場を後にする宮城副村長

# 大宜味村10大ニュース

2011年は大保ダム供用開始、村特産品(シークワサー)加工施設が本格稼働し大宜味産品を活用した新商品の誕生、そして将来、村の中核地区としての役割を担う結の浜の整備が進むなど、行政情報として話題性に富んだ一年となりました。

他にも、12年ぶりに大宜味村で開催となる「全国重要無形文化財保持団体協議会」や、第5回世界のウチナンチュ大会に参加した、大宜味出身者を迎える「大宜味村出身者歓迎交流会」、県内市町村の持ち回りで開かれる「第62回沖縄県植樹祭」など、大宜味村では数年来となるイベント等も多く、村の歴史にとって重要な年となりました。

また、子ども連や地域の団体などの活躍も目立ち、辺土名高校放送部の全国放送コンテストでの優勝、村婦人会やNPO法人大宜味つばきの会の表彰など、村民に明るい話題を提供してくれました。

10大ニュースとして取り上げることはできませんでしたが、古波蔵義照さんが全国障害者スポーツ大会に村から初出場を果たしたことも、重要なニュースの一つでした。

その他の産業・観光・文化・教育・福祉事業も一歩一歩前進し、村としては特に大きな災害もなく、比較的安定した年でありました。

## 結の浜の整備 着々と



結の浜団地の入居が2月に始まったのを皮切りに、結の浜が人の住む街として動き出しました。入居に合わせて大宜味浄化センターが供用開始を迎え、村道結の浜線(結橋)が3月に全線開通、10月には村立診療所が診療を開始しました。

また、5月より定住促進を図ることを目的とした過疎化対策の目玉である宅地分譲が開始されました。

## 大保ダム供用開始



ダム本体や貯水池周辺の安全性を確認する大保ダムの試験湛水が2月に終了し、4月1日から大保ダムが供用を開始しました。

大保ダムを広く親しんでもらおうと県内に愛称を募り、ダム湖には「ぶながや湖」、大保ダム地域防災センター・学習資料館には「ぶながや館」と愛称も決定しました。

## 全国重要無形文化財保持団体協議会 大宜味村で12年ぶりに開催



全国14の重要無形文化財保持団体が一堂に集う「第20回全国重要無形文化財保持団体協議会大宜味大会」が10月5日から7日の3日間、村農村環境改善センターを主会場に開催されました。

大会では、文化財の保護・発展に寄与した功労者として「喜如嘉の芭蕉布保存会」の桃原秋子さんと、稲福千代さんに感謝状が贈られました。

## 大宜味産品の新商品が誕生



村特産品(シークワサー)加工施設の工場が本格的に稼働し8月には、シークワサーをはじめ、マンゴーやパイナップルの飲料商品及び「賢熟シリーズ」としてアイスキャンディー等の新商品が誕生しました。

## 結の浜で県植樹祭開催



全島緑化推進運動第62回沖縄県植樹祭が5月14日、結の浜で開催されました。植樹には塩屋小学校の緑の少年団や上原良幸副知事、一般参加者ら約700名が参加。「緑の美ら島づくり」を目指し、ハイビスカスやツバキの苗木1500本を植樹しました。

## 世界の「イギミンチュ」25人が里帰り



第5回世界のウチナーンチュ大会に参加した、大宜味村出身者を迎え入れる「大宜味村出身者歓迎交流会」が10月15日、村農村環境改善センターで開催されました。交流会にはペルー、ブラジル、アルゼンチン、アメリカ、フランスの5ヶ国25名の「イギミンチュ」が参加し、会場に詰めかけた約100人の親戚や友人等と再会し、故郷との絆を深めました。

## 大宜味つばきの会 大臣賞を受賞



花と緑の愛護に功績のあった民間団体を表彰する第22回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰にNPO法人「大宜味つばきの会」（平良治男会長）が選ばれました。

同会は大保ダム周辺や結の浜、大宜味の森で1万本近くに及ぶツバキの植栽活動や、ツバキの保全活動などの取り組みが評価されて受賞となりました。

## 村婦人会が県観光功労賞を受賞



県の観光振興に貢献があった個人及び団体を表彰する沖縄県観光功労賞に「大宜味村婦人連合会」が選ばれました。同会は地域の環境美化運動や一昨年に行われた2010美ら島沖縄総体ボート競技大会で、婦人一人ひとりが花を育て「ハイビスカス花いっぱい運動」を展開するなど、地域の観光資源の美化と保護に貢献したことが評価されました。

## 平良結女花さん 大城真奈さん 県中学ソフトテニス大会で優勝



8月に開催された知花杯中学校大会の個人戦で大宜味中ソフトテニス部の大城真奈さんと平良結女花さんが個人戦で優勝を飾りました。県大会での優勝は、大宜味中ソフトテニス部初の快挙となります。

## 辺土名高校放送部が全国放送コンテストで快挙



東京都で7月末に開かれた第58回NHK杯全国放送コンテストのラジオドキュメント部門で、辺土名高校放送部の玉城祐太郎さんと山城真梨奈さんがまとめた「プレイバック」が優勝に輝きました。

「プレイバック」は、やんばるの森で息するヤンバルクイナやアカヒゲなどを調査する同校サイエンス部の活動を記録した7分間の作品。

お知らせ  
暮らしに役立つ  
情報コーナー



平成24年

# 経済センサス 活動調査



経済センサス-活動調査は、暮らしや地域などをより良くするために、あなたのお店、あなたの会社についてお伺いする大切な調査です。正確な統計をつくるために、調査への回答をよろしくお願いいたします。

平成24年  
2月1日  
(水)

「経済の国勢調査」です。全国すべての企業・すべての事業所が対象です。

調査票は平成24年1月末日までにお届けします。2月1日以降に提出をお願いします。

- この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。
- 提出された内容は統計作成の目的以外(税の資料など)には、絶対に使用しません。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

経済センサス 検索

## 新成人のみなさん

おめでとーございます

### 20歳になったら国民年金

国内に居住する20歳以上60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、国民年金の保険料を納めることとなります。収入等が少なく保険料の支払いが困難な場合は『学生納付特例制度』(学生のみ)、『若年者納付猶予制度』(30歳未満)などの保険料免除制度があります。

### 国民年金(基礎年金)3つのメリット

- 1、老後を支えます  
↓ 老齢基礎年金
- 2、病気やけがで障害の状態になったときにさえます  
↓ 障害基礎年金
- 3、加入者が亡くなったとき、子のある配偶者、子を支えます  
↓ 遺族基礎年金

### 世代と世代の支え合いの仲間入り

公的年金制度は、現役世代が納める保険料で高齢者の方の年金を負担するといふ【世代と世代の支え合い】が基本です。



## カンキツグリーンング病 侵入警戒調査事業へのご協力を!

村では、次の地区を侵入警戒調査事業地区として設定し、カンキツグリーンング病の侵入を警戒するため、巡回調査員が調査を行っています。よろしくお願います。

### 対象地区

- ① 大兼久  
(小字 大兼久、小兼久、黒石を除く)
- ② 大宜味(小字 大宜味、島田を除く)
- ③ 根路銘  
(小字 島原、外間原、親川、義仁崎、安根を除く)
- ④ 押川

この地区内におきましては、設定された対象地区外で栽培された柑橘やゲッキツの苗を持ち込まない。(持ち込む時は村へ連絡する。)  
設定された対象地区外の園に行つた時は対象地区内の園などに行かない。(行くときは最初に対象地区内の園に行く。)

また、対象外の地域におきましても、グリーンング病とミカンキジラミが多くなる園地での防除、住宅地域内でのゲッキツへの樹幹散布へのご協力よろしくお願います。

カンキツグリーンング病防除のために、村民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願います。

シークワサー振興室

TEL 098014413084

# やるよ献血

ハートに近い贈り物

今!! 400mL 献血が多く求められています。

期 日 平成24年 1 月 19 日 (木)

時 間 9:30~12:00

場 所 大宜味村役場 第2会議室横

\* 皆様の力で一人でも多くの患者さんを救って下さい

\* 前日は睡眠5時間以上・当日は食事を摂ってご協力をお願いします

お問い合わせ  
大宜味村役場 住民福祉課  
☎(0980)44-3003

## 村の人口

11月末現在



男 1,731人 (-1)

女 1,636人 (-3)

計 3,367人 (-4)

世帯数 1,653世帯 (-2)

出生 3人 転入 11人

死亡 7人 転出 9人

※注( )内数は対前月比

## 満1歳お誕生日おめでとう!!

(タンカー祝い)

☆世界にたったひとつだけのスマイル! ☆

輝く未来の大宜味っ子!



とむ 敏夢くん  
(塩屋)



いった 偉太くん  
(田嘉里)

明るく・元気で・素直に  
すくすく育ててね



■ 村社会福祉協議会へ  
根路銘 徳幸様 4万円

◎ 謝名城区  
父 松徳さんの香典返しとして

■ 村育英会へ  
大宜味村診療所長  
内間 恭堅様 金一封

◎ 喜如嘉区  
大宜味村子弟教育のため

■ 村人材育成基金へ  
宮城 敏様 3万円

◎ 塩屋区  
米寿を記念して



## 1 January 1月1日 ~ 2 February 2月10日 大宜味村カレンダー

1 日	元日
2 月	
3 火	
4 水	◆村成人式 ◆官公庁仕事始め
5 木	◆区長会
6 金	◆始業式 (幼・小・中) ◆村民新春の集い
7 土	
8 日	
9 月	成人の日
10 火	
11 水	◆喜如嘉保育所新春タープクマラソン・駅伝大会
12 木	◆村教頭研修会
13 金	◆塩屋保育所新春マラソン・駅伝大会 ◆村教頭研修会
14 土	◆大宜味村産業まつり (~15日)
15 日	
16 月	
17 火	
18 水	
19 木	
20 金	
21 土	

22 日	
23 月	旧正月
24 火	
25 水	◆体験の翼事前研修会
26 木	◆劇団タンポポ公演 (津波小)
27 金	◆村PTA運営委員会
28 土	◆沖縄一周市郡対抗駅伝競走大会 (~29日)
29 日	教育の日 ◆塩屋小村学対実践報告会
30 月	幼・小・中振替休日
31 火	
2月 February	
1 水	◆区長会 ◆体験の翼事前学習会家庭学習強化月間
2 木	◆村校長・教頭 合同研修会
3 金	
4 土	◆塩屋保育所ヤマシっ子生活発表会
5 日	◆4小学校学会
6 月	◆4小学校振替休日
7 火	◆体験の翼事前学習会
8 水	
9 木	
10 金	◆体験の翼西会津訪問 (~13日)

# あんしえったん むかしやし

## 喜如嘉入り口

古い写真は1965年に平良景太郎氏が発行した『喜如嘉』からの1枚。約46年前の喜如嘉部落入り口の写真。『DETACHMENT of KIZOKA』は向かいにあった駐在署を指し、730以前の「車は右」「人は左」を表す『左側通行』の表示。石でできた『字喜如嘉』の道標もみられる。そして、人口、名所、特産品などを案内した『喜如嘉』の看板。故根路銘安昌氏が村長だったときに、このような看板が各地域の入り口に立てられた。1964年、氏は産業振興に尽くし、村の発展に功績があったという事でキャラウェイ高等弁務官より感謝状を授与され、そこには「道路標識の掲示が訪問者に便宜を計った」という内容も含まれていたという。



## 村内あれこれ

### J A おきなわ大宜味支店女性部 手作り味噌 100個贈呈



J A おきなわ大宜味支店女性部は12月13日、村社会福祉協議会の事務所で、自分たちの手作り味噌を同協議会に贈りました。贈られたのは、同支店女性部が4ヶ月かけて作り、前日に容器詰めした無添加の味噌100個。

同支店女性部の照屋まりさんは「お年寄りの健康を祈って、心を込めてつくったので、おいしく食べてもらえたらうれしい」と気持ちの込もった手作り味噌を社協の平良森雄会長に手渡しました。贈呈された味噌は、村社協を通じて地域のお年寄り達に配られます。

### 田嘉里区に色とりどりのヒマワリ畑



田嘉里お助け隊が管理する同区公民館裏手にある畑に12月上旬、色とりどりのヒマワリが花を咲かせました。普段目にする機会が多い黄色だけでなく、中にはクリームやピンク色のヒマワリもあり、見る人の目を楽しませていました。

### 大保ダムで植樹体験



2011、「森に学ぼう」プロジェクト大宜味村（主催：同実行委員会、(株)沖縄コカ・コーラボトリング）が11月23日、大保ダムで行われ、村内外から親子連れなど約400人が参加しツバキの植樹や育樹体験を体験しました。

参加者は、ツバキの苗木45本と種1200粒を植樹したほか、草取りや次年度の苗づくりとして800粒をポットに植える作業を行いました。

毎年参加しているという花城綾姫さんは「今回植えた小さな種が、将来大きくなるのが楽しみ」と笑顔をこぼしました。

### 平成23年度 南米移住者子弟研修 受入事業報告・激励会



9月15日～11月18日までの間、南米子弟研修生として海洋博記念公園(本部町)並びに花卉園芸農業協同組合(名護市)で主に蘭や菊の育成技術の習得に励んだ、塩屋区出身の故宮城秀亀さんのひ孫、瑞慶山・宇賀本・エドアルド・ウィルフレドさん(ペルー国)の報告会と激励会が11月24日(木)に行われ、村長より修了証書が付与され研修を無事修了しました。

沖縄滞在中には、多くの親戚関係者との初対面も実現し、沖縄との繋がりをあらためて実感し、充実した日々を送ることができました。